

# れいめい

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1

まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560

らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588

サニーズマーケット TEL027-212-8300 / FAX212-8302

アベリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588

共同生活援助事業 ホームソレイユ・ホームあおぞら

## 「福祉」の仕事って最高でしょ！

らいず施設長 中島 穰

去る7月7日から8日にかけて高崎市を舞台に「第46回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会」が開催されました。大会テーマは「どう築く、連携社会」です。第1日目は全体会として基調講演と記念講演、第2日目は6つのテーマごとに分かれた分科会を開催しました。来場者は約850名ということで、とても大きな大会となりましたが、担当県の一員として大会運営に携わった私してみると、皆の協力もあって無事に大会を終えることができたことが、まずをもって良かったと感じているところです。

第1日目の「基調講演」は、上智大学の太塚教授から大会テーマと同じ「どう築く、連携社会」をテーマにしたお話をいただきました。内容は、「障害者権利条約批准に向けたこれまでの日本の動き」、「社会保障審議会障害者部会で今後審議される論点」について説明の後、自身の経験にも触れながら「今後の障害福祉の方向性と願い」についてお話をさせていただきました。次に行われた「記念講演」では、TV やラジオでお馴染みの理化学研究所イノベーション推進センター特別招聘研究員の辨野先生による「『便の』お話」をさせていただきました。先生のお話によれば、「便は健康のバロメーターです。見ないで流してはもったいない。毎日、便で健康チェックしましょう」ということでした。健康維持のためにはやはり、規則正しい生活と適度な運動、そして食事と改めて感じました。第2日目は分科会担当ということもあり、「第3分科会日中活動支援」に、らいず支援員2名と共に参加しました。テーマは「地域で繋ぐ、未来へ繋ぐ」です。シンポジウム形式で行われた本分科会ですが、日中系事業所(主に生活介護)に所属する職員約170名の参加がありました。シンポジストは3名で、それぞれの立場で自身が大切にしている点について発表していただきました。一人目は山梨県よりG・Hのサービス管理責任者として従事している方の発表でした。本分科会の参加者の中には、まだ経験の浅い支援者も多いということで、発表者自身が初任者であったころから現在に至るまで、なかなかうまくいかなかったエピソードに触れながら「福祉は人の人生に関わる難しいながらも素晴らしい仕事」「楽しさを自分を感じないと美しい支援はできない」という言葉がとても印象に残りました。二人目は、全国自閉症協会でもご活躍されている川崎市の自閉症者専門施設施設長さんからの発表でした。内容はどれも実践力のあるものでとても勉強になりました。中でも印象に残ったのが、「自閉症者へのアプローチの方法」です。「我々はどうしても『負の声掛け』が多くなってしまいが、『正の声掛け』となるように様々な瞬間を見逃さず取り組めることを目指している。」ということでした。そして三人目は、日本知的障害者福祉協会の日中活動支援部会(旧通所更生部会)で永らく部会長を務めていた方のお話でした。内容はまだ地域に通所施設が無かった頃の障害福祉の歴史にも触れながら、自身が願う障害福祉の未来像についてのお話でしたが、最後に「これからの障害福祉に大切なものは、『地域に対する啓発』である」、「『この人たちを理解してください』では無く、『地域の方を巻き込みながら、この人たちのかけがえのない価値をいかに伝えていくか』である」とおっしゃっていました。3名の発表はどれも素晴らしいものでした。

総合支援法3年後の見直しで「意思決定支援」という言葉が盛り込まれました。これは大変な意義があるものです。当法人が運営する各施設でも、これらのことを真に置き、今もそして未来も利用者さんが私たちと出会えてよかったと感じていただけるように、よきパートナーであり続けたいと思います。

## サニーズマーケットの取り組み～野菜編～

就労支援員 山田 遼太郎

サニーズマーケットが開所してから3年半が経ちます。開所当時は小分けと玉ねぎの皮むきだけだった作業も今ではだいぶ増えてきました。基本的にサニーズの作業はどれも食品(主に野菜)が関係しています。作業種が増えた今でもそれは変わりません。小分けや皮むきはもちろんです、冬季限定の白菜カット及び真空作業・ブロッコリーカット、さらには納品や梱包・コンテナ洗浄に至るまでほぼ全ての作業が製品である野菜に関わっています。

野菜と関わるということは生産者の方を始め、お店に来ていただいたお客様や納品先・出荷先の方達と関わるということでもあります。特に地元の生産者の方達とは日ごろから接する機会もよくあり、そこでの会話から学ぶことも多いです。今年の野菜の出来や特徴、それを取り巻く天候や虫の様子など様々な話から得た情報を作業や接客に活かしています。また、その年の初物や旬なものにいち早く関わり、お客様にお届けすることができるのも野菜を取り扱うことの一つの良さだと思います。

その半面、気を配らないといけないことも多く、保管方法・温度管理・衛生管理・根や芽の処理・不適合のチェック等、どれもサニーズにおいては欠かせないものとなっています。不適合のチェックや衛生管理に関しては利用者の方も強く意識してくれているので、そういったことが既に習慣化されています。そのくらいサニーズでは常に野菜と関わっているのだと改めて感じています。

そして『野菜の小分け』『野菜の加工』『野菜の販売』ということに加え、近年ではまほろの畑を借りて『野菜の栽培』という取り組みも始まりました。栽培はやはり難しく課題は多いですが、自分たちで作ったものを自分たちで小分け・加工して自分たちのお店で販売することができるということは利用者の方にとって、そして職員にとっても貴重な経験になっています。今年はレクリエーションとして自分たちで栽培し収穫したじゃがいもを使いカレーを作り、みんなで食べるという収穫祭を行いました。普段は料理をしない方達も当日は少し緊張しつつも楽しそうに自分たちで作ったじゃがいもを包丁で切ったりピーラーで皮をむいたりする姿が見られました。こういった行事もサニーズならではの、野菜に関わる楽しみの一つです。利用者の方の体力面・他の作業との兼ね合い・消費者からの需要などを踏まえた上で様々な野菜の栽培に挑戦し、こういったものが自分たちの野菜作りに適しているかということ、それに合わせて今回の収穫祭のような行事を毎年企画できるように検討していきたいと考えています。

最後に、サニーズではまだ作業において模索中な部分があるのが正直なところです。右肩上がりでの作業種や納品先が増えているわけではありません。今まで一度きりしか行わなかった作業、計画はしたものの実行に移すことができなかつた作業もいくつかありました。ですがその中で通年化した作業あるいはスポットで定期的に依頼されるようになった作業などある程度定着してきたものもあります。納品の面では納品先の方から頂いた評価や信頼が納品数の増加・新たな納品先の拡大に繋がっています。このように自分たちの前向きな取り組みが評価され少しずつではありますが仕事は確実に増えてきています。扱う品目が増えることにより覚えなければならないことも増えていますが、この積み重ねが利用者職員含めサニーズマーケットで働く者としての自信に繋がっていくと信じています。

これからも利用者・職員共に作業に熱心に取り組んでいき、売り場の面でも作業の面でも『野菜といえばサニーズマーケット』というイメージをより多くの人に持ってもらうよう励んでいきます。



## 赤城ふれあいの森へ、まほろ恒例のバーベキューに行ってきました！

支援員 川崎 真菜美

まほろでは毎年、海の日にバーベキューをしています。公共の場を使ってマナーやルールを学び、集団行動により協調性を身につけることを目的として計画しています。また、「作業活動の一時のお楽しみ」要素もありますので、皆で楽しく行ってきました。

現地での役割分担は、野菜を切る班と火おこし班、会場の手前から歩く健脚班に分かれて行動しました。野菜を切る班では、調理の人などの職員と一緒に野菜を切りました。

普段あまり話すことのない給食の調理員と一緒にであったため、利用者の方にとってもまた給食の職員にとってもお互いを知る良い機会となりました。火おこし班では、火を扱うので職員と一緒にいき、主にうちわで風を送って着火する根気と体力の必要なグループです。健脚組は、くねくね曲がった坂道を元気に歩いてお腹を減らし、よりおいしいバーベキューにするグループです。涼しい山道を気持ちよくみんなで歩きました。

全員集まったところで7つの班に分かれてバーベキューの開始です。私たちの班では、炭の火力が弱く始めに焼いた野菜からでた水分で、お肉がしゃぶしゃぶ状態になってしまいました。なかなか焼けずに時間がかかってしまいましたが、だれも文句を言うことなく逆にこの待ち時間も楽しんでいるようでした。すぐに炭を足して火力を上げ、以後スムーズに焼き上げられました。野菜やお肉をたくさん食べてから焼きそばを調理しましたが、やっぱり焼きそばが一番好評で、あれだけ食べた後でも、みんな「おいしい！」と完食していました。このバーベキューでは普段あまり量を食べない人も、野菜嫌いの人も、この日に限っては沢山食べられる大好評の行事です。また、まほろは「はたらくところ」ですので、バーベキューから戻ってきてからのお仕事もしっかりおこないました。

私はバーベキューに参加するのは初めてでしたが、利用者みなさんが仕事の時とは違って楽しんでいる表情を見て、私自身もとても楽しく過ごすことが出来ました。また、普段一緒に仕事をしていない別の作業部の方と一緒に行動することで、みんなのを知る良い機会となりました。

利用者の中には1ヶ月以上前からこの行事を楽しみにしている方もいます。こういった行事を励みにたくさん仕事を頑張ってもらえるように、これからも楽しくて役に立つ行事をたくさん計画していきたいと思います。



バーベキューたのしかったよ～



## 施設利用相談窓口

施設利用に関するご意見・ご要望等がありましたらお気軽にご相談ください。

下記「お問合せ先」まで

## ボランティア募集

各施設では知的障がいをもつ方たちが地域の中で生活を続けながら社会参加していく事を目的に作業支援や生活支援を行っています。このような活動にご協力いただける方は下記をご覧くださいのうえご連絡ください。

### 募集内容

作業活動の手伝い、音楽や美術・手工芸など文化活動の手伝い、庭木の手入れ、除草、送迎バスの洗車など

### 施設開所日

月曜日から金曜日まで

事前にお電話でご確認ください。

福祉施設等でボランティアの経験が無い方でも安心して参加できます。  
ぜひ、声をかけてください。



## お問合せ先

まほろ（就労継続 B 事業所） TEL027-233-2561

らいず（生活介護事業所） TEL027-260-1900

サニーズマーケット（就労継続 B、就労移行事業所） TEL027-212-8300

## 法人事業報告（平成 26 年度）

税務調査 H 2 6 . 4 . 8 ~ 9

法人内部監査 H 2 6 . 5 . 2 1

- ・平成 25 年度会計執行状況及び法人・施設運営状況
- ・平成 25 年度有機認証栽培申請に係る内部監査

第 2 3 回れいめい祭開催

第 1 回評議員会・理事会 H 2 6 . 5 . 1 8

- ・平成 25 年度事業報告について
- ・平成 25 年度決算報告及び内部監査報告について

第 2 回評議員会・理事会 H 2 6 . 1 0 . 2 5

- ・平成 26 年度第 1 次補正予算について
- ・就労移行事業開始について
- ・福祉避難所登録について
- ・新会計基準への移行について

就労移行事業開始（サニーズマーケット）H 2 7 . 3 . 1

第 3 回評議員会・理事会 H 2 7 . 3 . 1 5

- ・平成 26 年度第 2 次補正予算について
- ・平成 27 年度事業計画について
- ・平成 27 年度当初予算について
- ・任期満了に伴う役員改選について
- ・処遇改善事業の対応について
- ・就業規則見直しについて

法人ホームページのご案内（下記アドレスにてご覧になれます。）

アドレス <http://www.mireimei.or.jp/>